



観点	内容と特色	例（該当ページ）
観点1	教育基本法・学校教育法との関連	
教育基本法や学校教育法の理念を踏まえて編集上の配慮がされているか。	●書写の学習を通して幅広い知識・教養を身につけるとともに、書写で培った「正しく整えて文字を書く力」を、他教科や日常の言語生活で生かす態度を育成できるよう配慮している。 ●「知識・技能」を習得し、課題解決を行う過程で、「思考力・判断力・表現力」や「学びに向かう力・人間性」など、「生きる力」を支える能力を養えるよう配慮している。	全学年・全教材
観点2	学習指導要領との関連	
学習指導要領の基準性に鑑み、内容・系統は適切に構成されているか。	【1】学習指導要領への対応 ●学習指導要領に示された「我が国の言語文化に関する事項」の「書写」の指導を全て網羅できるように、単元・教材を作成している。 ●低・中・高の各学年段階で求められる「書く力」を確実に身につけられるよう、基礎的・基本的な知識・技能を児童の発達段階に即して系統的に位置づけ、習得と活用を繰り返しながら螺旋的に高められるよう工夫している。	全学年・全教材 全学年・全教材
学習指導要領の方向性に対応した工夫・配慮はどのようになされているか。 1 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用	●1年巻頭に「しょしゃすたーとぶっく」、3年巻頭に「毛筆スタートブック」を設け、硬筆・毛筆学習の入門期における基本を網羅すると同時に、書写学習を楽しく、着実にスタートできるよう配慮している。 ●2年以上の全教材に「たいせつ」を設け、他の字を書くときにも活用できる基礎・基本を明確に示している。 ●全教科の学習の基本となる姿勢・執筆を、各学年巻頭で丁寧に扱っている。1年には「しょしゃ体操」を設け、疲れにくく、集中しやすい姿勢を維持できるよう工夫している。 ●毛筆での学習を硬筆へ生かせるよう、毛筆学習の後には、教材内に必ず硬筆課題を設けている。 ●書写での学習を日常へ生かせるよう、6年には、小学校での学習内容をまとめた「書写ブック」を設置している。	「しょしゃすたーとぶっく」1年 P1-11 「毛筆スタートブック」3年 P1-13 「たいせつ」2年 P8 他 「しょしゃ体操」1年 P4-5 3年 P16 他 「書写ブック」6年 P21-28
2 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	●児童が見通しをもって学習できるよう、「書写の学習場面」(2年)、「学習の進め方」(3～6年)を写真で示している。 ●学習目標に即して、知識・技能の定着や自己の成長を確認できるよう、全教材の末尾に自己評価欄（1年：「できたかな」、2年以上：「ふり返ろう」）を設けている。 ●教材冒頭に「Q字のなぞとき」を設置し、文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする活動を通して、主体性や思考力・判断力・表現力を養えるよう工夫している。 ●1年には、入学時に書いた名前と学年末に書いた名前を比べて、成長したことを友達どうしで確かめ合う活動を用意するなど、対話を通して学習を深められるよう工夫している。	「書しやの学しゅうばめん」2年 P6-7 「学習の進め方」3年 P10-11 他 「できたかな」1年 P12 他 「字のなぞとき」2年 P12 他 「じぶんのなまえをかこう」1年 P1 「一年生のまとめ」1年 P41
3 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた工夫	●SDGsの達成に向けて書写のできる活動をまとめた「SDGsブック」、町の防災マップを作る「町の安全を伝えよう」など、書写の学習を、自分や社会と結びつけて深く理解し、日常に生かすアイデアを豊富に盛り込んでいる。	「SDGsブック」4年 P21-24 「町の安全を伝えよう」4年 P30-31
4 文字文化や、「点画の書き方」の理解を深めるための工夫	●伝統的な言語文化への理解を深めるために、書き初め、文房四宝、文字の歴史などをコラム等で提示している。 ●点画の書き方を繰り返し練習し、適切に運筆する能力を向上させる教材として、「空に大きく書こう」や「水筆で書いてみよう」を設けている。1・2年巻末には、繰り返し練習できる「水書用紙」を用意している。	「かきぞめ」1年 P38-39 他 「空に大きくかこう」1年 P48 「みずふででかいてみよう」1年 P27 他
5 コンピュータなどの情報機器の活用	●教科書紙面に「二次元コード（QRコード）」がある教材には、学習の参考となる豊富な資料を用意している。 【収録コンテンツ】運筆・体操動画（101点）・アニメーション（8点）・写真（222点）・左利き児童用紙面ほか（27点） ●タブレットを使う際の姿勢写真や、使用後に行う「整理体操」を掲載するなど、健康面への影響に配慮されている。 ●教科書裏表紙の「二次元コード」からは、タブレットを使うときの注意点や、感染症対策、学校で使う日本語などのテーマ別動画を閲覧することができ、誰もが、安心・安全に学校生活を送ることができるよう配慮されている。	二次元コード（書写） 1年 P14・15／3年 P31 他 「せいたいそう」1年 P5 他 二次元コード（みんなで考えたい大切なこと） 全学年・裏表紙
全体の分量や、各学年の単元数・教材数の配分・配列は適切か。	【2】分量・配列 ●1教材1目標とし、学習を通して身につける力を教材名としている。その教材で扱う要素を焦点化することで、学習のねらいが明確になり、効果的に力をつけられるよう配慮している。 ●各教材は、①導入（目標の確認、観察や比較による原理・原則の発見）→②理解（文字の原理・原則を理解する）→③確認（毛筆や硬筆で書いて原理・原則を確かめ、技能を習得する）→④活用（習得した知識・技能を、他の文字に応用する）→⑤振り返り（学習内容の確認）という展開がひと目で分かるように構成している。	全学年・全単元 全学年・全単元（3年 P30-31 他）
教材の選定は適切に行われているか。	【3】教材の選定 ●毛筆・硬筆とも、学習指導要領の「学年別漢字配当表」に準拠しつつ、部分の形の統一が図られた、小学生にとって学びやすい文字を採用している。文字の書きぶりは一貫しており、教科書体活字との整合性も図られている。 ●書写の基礎・基本を押さえるのに適しているだけでなく、言葉としても価値のある教材文字を選択している。 ●動物キャラクターの動きや、「すうっ」「びたっ」などの擬態語・擬音語を活用して、筆使いを直感的に理解できるよう工夫している。 ●毛筆学習では、朱墨を用いて、穂先の向きや筆圧、点画のつながりなどの筆使いが把握できるよう工夫している。	全学年・全教材 全学年・全単元（2年 P16-17 他） 全学年・全単元（1年 P12-13 他） 全毛筆教材（3年 P16 他）
今日的な教育課題への対応は図られているか。 (SDGs・防災教育・多様性等)	●4年に「SDGsブック」を設けるなど、教科書全体を通して、SDGsの達成に向けた工夫がなされている。 ●「町の安全を伝えよう」では、防災マップ作りを取り上げ、防災・安全への意識を高められるよう配慮されている。 ●左利き児童の学びやすさを考え、左手で書く時の手や用具の位置を示した写真を掲載している。さらに、二次元コードから読み取れるコンテンツとして、左利き児童用の教科書紙面や動画を用意している。	「SDGsブック」4年 P21-24 「町の安全を伝えよう」4年 P30-31 1年 P6-7 他
国語科国語や他教科、学校生活との関連は図られているか。 1 国語や他教科（外国語等）との関連 2 家庭や地域社会との連携	●各学年に国語科国語との関連教材を設け、言語活動（話すこと・聞くこと／書くこと）を通して、日常生活や他教科にも生きて働く書写の知識・技能を習得できるよう工夫している。他にも、他教科との関連教材「書写広げたい」を豊富に位置づけ（算数・生活・理科・外国語等）、教科横断的な学習が充実するよう配慮している。 ●全学年に「先生・保護者の方へ」を設け、書写の学習内容や家でできる取り組みを紹介したり、1年に「お家の人からの応援メッセージ」欄を設けたりするなど、家庭や地域社会との連携が図れるよう配慮している。	「しょしゃひろげたい」1年 P22-23（国語）／5年 P35（外国語） 他 「先生・保護者の方へ」1年 P49 他 「お家の人からの応援メッセージ」1年 P1
3 幼・保・中との連携	●1年巻頭に「しょしゃすたーとぶっく」、6年に小学校で学習したことをまとめた「書写ブック」を設け、幼稚園・保育園、中学校との接続がスムーズに図れるよう配慮している。	「しょしゃすたーとぶっく」1年 P1-11 「書写ブック」6年 P21-28
観点3	使用上の配慮・工夫	
学ぶ意欲や楽しさを喚起することや、使用上の便利さ、表記・表現の正確性に対する配慮は適切に行われているか。 1 デザイン	【4】体裁に関する配慮 ●限られた時間で効率よく学習できるよう、主たる学習要素は大きく丁寧に、それに付随する要素は小さく簡潔に示している。学習のねらいが明確で大切なことをつかみやすい、めりはりのある紙面構成になっている。 ●学習のポイントを示す「たいせつ」や、理解を助け、課題解決のヒントを与えるキャラクターなど、紙面を構成する要素の役割を明確にすることで、児童の主体的学習の助けとなるよう配慮している。 ●わかりやすい図やイラストを適所に配置し、児童の意欲を喚起するとともに理解の助けとなるよう配慮している。	全学年・全教材（1年 P30-31 他） 全学年・全教材（1年 P12-13 他） 全学年・全教材（2年 P12 他）
2 表記・表現 3 表紙・製本・印刷など	●発達段階に応じて分かりやすい文章で表現している。表記や用語は学年で段階を設けつつ統一している。 ●鮮明で正確な色調で印刷している。また、環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いている。 ●製本は、針金を3か所に施した中綴じで、長期の使用に耐えられるよう配慮している。 ●書き込み欄の充実に合わせて、強度が高く、鉛筆で書きやすい紙を開発し、採用している。文字やイラスト、写真が見やすく、裏写りの少ない紙質である。 ●環境への配慮から、4年「SDGsブック」には、間伐材を利用して作られたオリジナルの用紙を使用している。 ●表紙には、防水効果があって汚れにくい、撥水コーティング加工が施されている。	全学年 全学年 全学年 「SDGsブック」4年 P21-24 全学年
特別支援教育や色覚の多様性への配慮はなされているか。	【5】特別支援教育に関する配慮 ●特別支援教育の専門家による全ページの校閲を受け、全ての児童が学習に集中できるよう、大切なことがひと目で分かる、すっきりとした紙面構成を実現している。 ●複数の色を組み合わせるときには、色覚の多様性に配慮し、誰もが明確に識別できる配色を採用している。 ●単元名・教材名や「たいせつ」には、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体を用いている。	全学年・全教材（1年 P30-31 他） 全学年・全教材（1年 P15 他） 全学年・全教材（3年 P16 他）